

5月2年美術・デザイン専攻「構成」課題

「色彩構成の基礎」

与えられたボードに2つ、平面構成を下さい。

条件：①ボードを横にし、縦23cm、横16cmの枠を2個作る。(間は空ける)

②直方体、円柱、三角柱をそれぞれ最低1個以上使用すること。数、形は自由。

③2つの画面の構成(配置)は同じものとする。

*同じ絵柄で表現を変えなさいということ

④左側の枠は、右下の画面③のように「質感を生かした表現」にすること。自分で考えても良い。

*質感表現のプリントを参考にしても良い。

⑤右側の枠は、下の画面①、②、④のいずれかのテーマを選び、構成すること。何番か記入のこと。

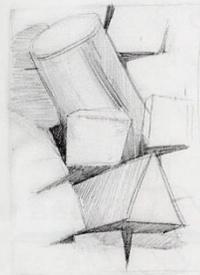
ボードの例

氏名 ()	
画面③ ~の質感	画面①か②か④

平面構成をするにあたって、よい作品と呼ばれるものとは何か？ 高得点を得るにはどうしたらよいのか？ さまざまな疑問が出てくるであろう。いろいろな審査基準があることは前に述べたが、その答えはひとつではない。したがって各自のねらいや表現の違いによりさまざまな優秀作品を生むことができる。ただ共通していることは基礎力(構力、色彩のバランス、作業や形の美しさ、テーマを伝えることなど)が必要であるということである。この基礎力をつけていかなくては自分のねらいや表現したいものにも伝わらないものになってしまう。ここではひとつの基礎課題により構成、色彩、表現を二者の作例をもとに解説していく。

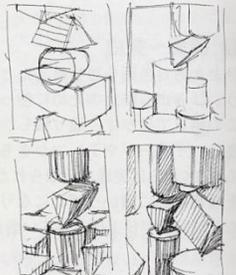
composition classroom 問題 DESIGN 直方体、円柱、三角柱を、条件にしたがい色彩構成下さい。

エスキース



作者 A

エスキース



作者 B

* 円柱、三角柱を中心に複数の直方体からできている構成となっている。隙間の形と陰影とのつながり、バランスに注意して配置を決めている。直方体はあえて地に溶け込ませるようにし、

* ラフスケッチの段階から重なり、連なりを意識した構成を考えている。エスキースでボールペンとマーカーを立てている。ねらいとしては手前の形態越しに、三角柱に目をあてていかせよう

画面① 色数を5色以内で彩色下さい。



* 明度はエスキースにしたがい、色を4段階で振りわけている。色相は大きく寒色系のグリーンと暖色系のピンクとし、そのつなぎに明度の低いグレーを配している。色数を4色に絞っているが、大きな色相の違いが生かされるもの足りなさは感じない。

* 5色を黄色(オレンジ)、赤(ローズ)、青(ライトブルー)、白、グレーと色相をそれぞれ変え差を出している。明度の差も明るい白と黒寄りのグレーが画面を引き締めている。5色の配色で色幅を十分に感じさせる作品である。

画面② 補色関係にある2色を選び、その2色の混色によりできる色のみを使用して下さい。



* 黄色とその補色の紫で構成している。この課題では色相のもっとも幅のある色2色とその混色により色相、彩度のさまざまな色ができるということを勉強するものでもある。この選んだ色はもともと明度の差もあるので色相、彩度に加え明度の変化もつくられている。

* ここで選んだのは黄緑とその補色のローズである。この配色は明度差が少ないが、その分彩度の変化がより感じられる。混色によりできた同じ色が黄緑の隣では赤みが強く、ローズの隣では緑の色みを感じられる。これは彩度対比による色の見え方である。

画面③ 任意の質感を生かした表現に下さい(色は自由)。

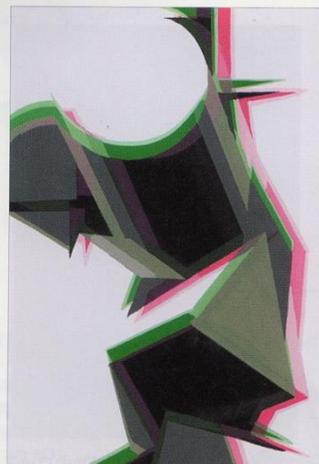


* 金属質を生かしている。メイン的要素となっている円柱と三角柱のみに、映り込みなどの表現をつけて絞り込んでいるため、メリハリの強い作品となっている。このような疎密の違いがねらいを生かすことになる例である。



* ガラス、アクリルなどの透明な質のものにしていく。ここでは全体に質感をつけて見せている。背景の色を部分的に変えてものの配色との関係を生かしている。配色も透けるということを生かした構成になっており、赤を基調に微妙な色の調整に気を配っている。

画面④ 任意の技法・表現アレンジを生かした構成に下さい。



* 画像をぶれさせたような表現を使い残像的に見せている。この表現ではグレートーンが大きな面積を占めているところに高彩度色をバランスよく効かせているのが見せ場といえる。



* ストライプにより形を見せている。ストライプはカラフルに色相を振っているが配列や明度も2段階のみと規則性があるので、まとまり感があり、空間も感じられるものになっている。